



事化推進機関： QBキャピタル合同会社

研究代表者： JAIST 都 英次郎 教授

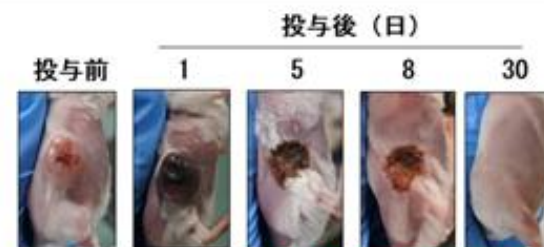
- 腫瘍組織から強力な抗腫瘍作用のある複数の細菌 [A-gyo (阿形)、UN-gyo (吽形)、AUN (阿吽) と命名] の単離に成功
- なかでもAUN (A-gyoとUN-gyoからなる複合細菌) は、高い生体適合性と様々な癌腫に対して高い抗腫瘍活性を発現



AUN (A-gyoとUN-gyoから成る複合細菌) がまさに
“阿吽の呼吸”によって癌細胞を倒している様子 (イメージ)

種々の安全性評価 (血液学的検査、組織学的検査) により
AUNは高い生体適合性を示唆

生物・化学系トップジャーナルAdvanced Science (IF₂₀₂₂ = 15.1) に掲載JAISTよりプレスリリース。国内外の数多くのメディアにハイライト (日刊工業新聞、東京新聞、北國新聞、Yahoo、EurekAlert、AlphaGalileoなど)



AUNによる抗腫瘍効果 (単回投与で腫瘍が完全消失)

【特許出願状況】

- 細菌と近赤外光を利用したがん診断・治療技術に係るもの (各国移行中)
- 腫瘍内細菌に係るもの1 (PCT出願済)
- 腫瘍内細菌に係るもの2 (PCT出願済)
- 処方に係る要素技術 (PCT出願予定)



都英次郎教授

スタートアップ設立予定時期：2027年

ターゲット市場：グローバル、国内